

(2) 政策的医療に関する評価チェックシート

評価の定義

- 期待どおり又は期待以上
- △ 事業の実施に問題はないが一部に改善の余地有り
- × 事業の実施に支障有り。或いは法令違反有り。

評価項目	事業計画書の内容	評価対象事項	令和5年度の実績	自己評価	自己評価分析	市評価	評価所見																																																																																																				
①救急医療	<p>令和2年度の年間救急搬送件数は、1,348件（月平均112.2件）であり、令和3年度は、2,130件（月平均177.5件）、令和4年度は2月までで2,215件（月平均201.4件）と着実に増加の実績を積み上げてきております。 コロナやクラスターによる病棟受け入れ制限等の影響もありましたが、手術を必要とする患者の受入体制強化等、断らない救急医療が着実に根付いてきていると実感しています。また、救急搬送患者のうち、入院加療が必要な患者は、約32%であり、地域の二次救急医療機関としての役割を果たしていると考えます。</p> <p>ただし、救急搬送以外の時間外・休日受診においては、令和4年度は2月までで1,501件（月平均136.5件）と、コロナによる受診抑制ならびに感染予防によるインフルエンザ等の受診者減等の影響が続いているものと考えられます。</p> <p>令和5年度においては、コロナの五類以降等アフターコロナの状況の中でもしっかりと、あま市唯一の二次救急病院として、救急医療の提供に取り組むため、近隣の消防署等と連携を深めていきます。また、脳出血や心筋梗塞等の緊急を要する疾患等は、名古屋第一赤十字病院等の高次の医療機関へ適正に搬送するほか、診療所、施設等からの救急患者の受け入れを積極的にを行い、地域の中核病院として役割を担ってまいります。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急患者数</td> <td>2,000人</td> </tr> <tr> <td>救急搬送数</td> <td>2,200件</td> </tr> </tbody> </table> <p style="margin-top: 5px;">ウォークイン 救急搬送応需率90%以上</p>	目標値		救急患者数	2,000人	救急搬送数	2,200件	<ul style="list-style-type: none"> ・ 救急患者数 ・ 救急搬送件数 	<p>令和5年度の年間救急搬送件数は、2,098件（月平均174.8件）であり、令和3年度の2,130件（月平均177.5件）、令和4年度の2,352件（月平均196.0件）に続き、3年連続2,000件を超えました。断らない救急医療の定着に加え、歯科口腔外科を開設したことにより、手術を必要とする患者の受入体制がさらに強化されてきています。また、救急搬送患者のうち、入院加療が必要な患者は、約35%であり、地域の二次救急医療機関としての役割を果たしていると考えます。</p> <p>ただし、救急搬送以外の時間外・休日受診においては、令和5年度は1,574件（月平均131.2件）と、コロナによる受診抑制ならびに感染予防によるインフルエンザ等の受診者減等の影響が続いているものと考えられます。</p> <p>令和6年度においては、循環器内科の開設により、これまで高次医療機関へ搬送していた脳出血や心筋梗塞等の緊急を要する疾患も受け入れが可能となる予定であり、これまで以上に救急受入体制が強化されます。一方、当院で受け入れの困難な疾患については、これまで通り日本赤十字社愛知医療センター名古屋第一病院等の高次医療機関へ適正に搬送します。</p> <p>地域の中核病院としての役割を担うため、近隣の消防署等と連携を深め、診療所、施設等からの救急患者の受け入れを積極的にを行い、あま市唯一の二次救急病院として、引き続き救急医療の提供に取り組んでまいります。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急患者数</td> <td>3,672人</td> </tr> <tr> <td>救急搬送数</td> <td>2,098件</td> </tr> </tbody> </table>	実績値		救急患者数	3,672人	救急搬送数	2,098件	○	<p>救急医療においては、総合診療科を中心に幅広い疾患への対応を図りました。断らない救急医療の徹底により、救急搬送件数は2,098件、ウォークインによる救急患者数は3,672人と、昨年度実績には届きませんでした。救急搬送件数は年間2,000件を超えました。</p> <p>令和6年度は循環器内科の開設等、より幅広い疾患に対応できる予定であり、引き続き近隣の消防署等との連携強化を図り、救急告示病院としての役割に努めて参ります。</p>	○	<p>救急搬送件数は目標に届かなかったものの、2,000件を超えて地域の救急医療に貢献しているものと高く評価する。令和6年度から循環器内科の診療体制がさらに強化され、循環器疾患に対して地域完結型の医療提供が可能となっていくと期待する。</p>																																																																																								
目標値																																																																																																											
救急患者数	2,000人																																																																																																										
救急搬送数	2,200件																																																																																																										
実績値																																																																																																											
救急患者数	3,672人																																																																																																										
救急搬送数	2,098件																																																																																																										
②小児医療	<p>令和4年度は、令和3年度と同様に総合診療医と名古屋大学病院医局からの非常勤医師と連携した診療体制とし、小児救急ならびに一般小児科の外来診療の対応をいたしました。しかしながら、外来患者数の減少は前年度から引き続いており、令和4年度2月までの1日平均患者数2.9人（令和3年度4.0人）となりました。要因としては、少子化、コロナによる外出抑制、感染症対策の強化・普及等による、風邪、発熱、下痢、嘔吐などの一般的な小児科疾患の罹患率の低下等が考えられます。</p> <p>令和5年度も引き続き、大学医局の協力を得ながら一次救急の役割を果たし、入院治療など必要な場合は近隣の医療機関と連携してまいります。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児外来患者数</td> <td>1,000人</td> </tr> <tr> <td>小児入院患者数</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	目標値		小児外来患者数	1,000人	小児入院患者数	0人	<ul style="list-style-type: none"> ・ 患者数 	<p>令和5年度は、令和4年度と同様に総合診療医と名古屋大学病院医局からの非常勤医師と連携した診療体制とし、小児救急ならびに一般小児科の外来診療の対応をいたしました。しかしながら、外来患者数の減少は前年度から引き続いており、令和5年度の1日平均患者数は3.4人（令和4年度3.0人）となりました。要因としては、少子化、感染症対策の強化・普及等による、風邪、発熱、下痢、嘔吐などの一般的な小児科疾患の罹患率の低下等が考えられます。</p> <p>令和6年度も引き続き、大学医局の協力を得ながら一次救急の役割を果たし、入院治療など必要な場合は近隣の医療機関と連携してまいります。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th colspan="2">実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児外来患者数</td> <td>821人</td> </tr> <tr> <td>小児入院患者数</td> <td>0人</td> </tr> </tbody> </table>	実績値		小児外来患者数	821人	小児入院患者数	0人	△	<p>総合診療医の中には小児科の専門医を取得している医師もあり、午前は非常勤の小児科専門医により、午後は常勤の小児科専門医により診療を行う体制が取られています。</p> <p>目標には届きませんでした。昨年度よりも患者数は増加しており、コロナが5類に移行されたことによる受診数増加も要因の一つと考えられます。</p> <p>引き続き、小児医療の充実を図ります。</p>	△	<p>小児医療については、前年度比で104人の外来患者数が増加したものの、インフルエンザ等の感染症の流行が見られたため外来患者数が計画には届いていない。政策的医療のひとつに位置づけた小児医療のさらなる充実を期待する。</p>																																																																																								
目標値																																																																																																											
小児外来患者数	1,000人																																																																																																										
小児入院患者数	0人																																																																																																										
実績値																																																																																																											
小児外来患者数	821人																																																																																																										
小児入院患者数	0人																																																																																																										
③リハビリテーション医療	<p>令和2年度に開棟した回復期リハビリテーション病棟は、令和4年度は1日平均患者数35.6人と、令和3年度38.5人から減少しましたが、1患者あたりの提供単位数は、令和3年度の平均5.0単位から、令和4年度は2月までで平均5.8単位と上昇しました。ただし、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、外来リハビリテーションについては中止せざるを得ない状況にありました。令和5年度はコロナ五類以降後、状況を見極めながら再開時期を模索してまいります。</p> <p>より安全に、より利用者が快適に療養生活を過ごせるよう引き続き環境整備についてあま市のご支援をいただければと考えております。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般病棟</th> <th>地域包括ケア病棟</th> <th>回復期リハ病棟</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運動器リハビリ</td> <td>10,000単位</td> <td>2,000単位</td> <td>45,000単位</td> <td>57,000単位</td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患リハビリ</td> <td>6,000単位</td> <td>4,000単位</td> <td>33,000単位</td> <td>43,000単位</td> </tr> <tr> <td>廃用症候群リハビリ</td> <td>1,500単位</td> <td>6,140単位</td> <td>—</td> <td>7,640単位</td> </tr> <tr> <td>呼吸器リハビリ</td> <td>5,000単位</td> <td>10,000単位</td> <td>—</td> <td>15,000単位</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>22,500単位</td> <td>22,140単位</td> <td>78,000単位</td> <td>122,640単位</td> </tr> <tr> <td>運動器リハビリ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患リハビリ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>廃用症候群リハビリ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>摂食機能療法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>5,000回</td> </tr> </tbody> </table>		一般病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハ病棟	合計	運動器リハビリ	10,000単位	2,000単位	45,000単位	57,000単位	脳血管疾患リハビリ	6,000単位	4,000単位	33,000単位	43,000単位	廃用症候群リハビリ	1,500単位	6,140単位	—	7,640単位	呼吸器リハビリ	5,000単位	10,000単位	—	15,000単位	計	22,500単位	22,140単位	78,000単位	122,640単位	運動器リハビリ	—	—	—	—	脳血管疾患リハビリ	—	—	—	—	廃用症候群リハビリ	—	—	—	—	摂食機能療法	—	—	—	5,000回	<ul style="list-style-type: none"> ・ リハビリテーション実施件数 	<p>令和2年度に開棟した回復期リハビリテーション病棟は、令和5年度は1日平均患者数37.5人と、令和4年度36.8人から増加しましたが、患者数が増加したことにより、1患者あたりのリハビリ提供単位数は、令和4年度の平均5.8単位から、令和5年度は平均5.6単位と減少しました。</p> <p>コロナ感染拡大防止のため中止していた外来リハビリテーションも令和5年度には再開し、今後もさらにリハビリテーション医療を強化してまいります。</p> <table border="1" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th></th> <th>一般病棟</th> <th>地域包括ケア病棟</th> <th>回復期リハ病棟</th> <th>合計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>運動器リハビリ</td> <td>19,948単位</td> <td>9,585単位</td> <td>45,846単位</td> <td>75,379単位</td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患リハビリ</td> <td>7,312単位</td> <td>3,778単位</td> <td>31,989単位</td> <td>43,079単位</td> </tr> <tr> <td>廃用症候群リハビリ</td> <td>5,712単位</td> <td>6,312単位</td> <td>—</td> <td>12,024単位</td> </tr> <tr> <td>呼吸器リハビリ</td> <td>10,423単位</td> <td>8,617単位</td> <td>—</td> <td>19,040単位</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>43,395単位</td> <td>28,292単位</td> <td>77,835単位</td> <td>149,522単位</td> </tr> <tr> <td>運動器リハビリ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>2,460単位</td> </tr> <tr> <td>脳血管疾患リハビリ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>58単位</td> </tr> <tr> <td>廃用症候群リハビリ</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>摂食機能療法</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>12,301回</td> </tr> </tbody> </table>		一般病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハ病棟	合計	運動器リハビリ	19,948単位	9,585単位	45,846単位	75,379単位	脳血管疾患リハビリ	7,312単位	3,778単位	31,989単位	43,079単位	廃用症候群リハビリ	5,712単位	6,312単位	—	12,024単位	呼吸器リハビリ	10,423単位	8,617単位	—	19,040単位	計	43,395単位	28,292単位	77,835単位	149,522単位	運動器リハビリ	—	—	—	2,460単位	脳血管疾患リハビリ	—	—	—	58単位	廃用症候群リハビリ	—	—	—	—	摂食機能療法	—	—	—	12,301回	○	<p>回復期リハビリテーション病棟の稼働率は前年度より増加し、85.3%となりました。また、コロナが5類に移行したことにより、外来リハビリテーションも再開し、提供総単位数は前年度の138,327単位から152,040単位に増加しましたが、患者数が増加したことで、1患者当たりの提供単位数は前年度の5.8単位から5.6単位と減少しました。</p> <p>今後も1患者当たりの目標提供単位数の6単位を達成できるようセラピストの確保を行い、リハビリテーション医療の充実に努めてまいります。</p>	○	<p>回復期リハビリテーション病棟の開設から4年目となり、高い利用率で稼働しているため、病診・病病連携が上手く機能しており評価する。</p> <p>また、4年ぶりに再開された外来リハビリテーションについても術後の患者さんのサポート体制が強化されており評価する。</p> <p>引き続きセラピストの確保を行い、リハビリ提供単位数の増加に努めてください。</p>
	一般病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハ病棟	合計																																																																																																							
運動器リハビリ	10,000単位	2,000単位	45,000単位	57,000単位																																																																																																							
脳血管疾患リハビリ	6,000単位	4,000単位	33,000単位	43,000単位																																																																																																							
廃用症候群リハビリ	1,500単位	6,140単位	—	7,640単位																																																																																																							
呼吸器リハビリ	5,000単位	10,000単位	—	15,000単位																																																																																																							
計	22,500単位	22,140単位	78,000単位	122,640単位																																																																																																							
運動器リハビリ	—	—	—	—																																																																																																							
脳血管疾患リハビリ	—	—	—	—																																																																																																							
廃用症候群リハビリ	—	—	—	—																																																																																																							
摂食機能療法	—	—	—	5,000回																																																																																																							
	一般病棟	地域包括ケア病棟	回復期リハ病棟	合計																																																																																																							
運動器リハビリ	19,948単位	9,585単位	45,846単位	75,379単位																																																																																																							
脳血管疾患リハビリ	7,312単位	3,778単位	31,989単位	43,079単位																																																																																																							
廃用症候群リハビリ	5,712単位	6,312単位	—	12,024単位																																																																																																							
呼吸器リハビリ	10,423単位	8,617単位	—	19,040単位																																																																																																							
計	43,395単位	28,292単位	77,835単位	149,522単位																																																																																																							
運動器リハビリ	—	—	—	2,460単位																																																																																																							
脳血管疾患リハビリ	—	—	—	58単位																																																																																																							
廃用症候群リハビリ	—	—	—	—																																																																																																							
摂食機能療法	—	—	—	12,301回																																																																																																							

(2) 政策的医療に関する評価チェックシート

評価の定義

- 期待どおり又は期待以上
- △ 事業の実施に問題はないが一部に改善の余地有り
- × 事業の実施に支障有り。或いは法令違反有り。

評価項目	事業計画書の内容	評価対象事項	令和5年度の実績	自己評価	自己評価分析	市評価	評価所見																														
④保健衛生事業	<p>令和4年度も、コロナの影響により事業所健診等をはじめとした健診事業においても一部制限せざるを得ない状況となりましたが、従来の1階健診センターではなく、2階外来スペースを使用するなど、可能な限り対応いたしました。</p> <p>令和5年度はコロナ五類以降後の状況を見極めつつ、健診センターの立ち上げによる、保健衛生事業の拡充を予定しています。また引き続き、子宮がん検診、乳がん検診、事業所検診、及び個人健診や予防接種など幅広い保健衛生事業を実施いたします。また、ヘルスプロモーション事業として、糖尿病の健康教室などの公開健康講座等を開催し、市民の健康づくりに寄与します。なお、令和4年度は、コロナのため、公開講座等を実施することが難しいなか、オンラインシステム（ZOOM）等を活用し、感染管理等の普及に努めました。令和5年度は対面での開催方法等も模索しながら保健衛生に関わるイベント等を開催し、地域住民だけでなく、地域の施設、事業所の施設関係者等々への啓蒙活動や市と共同した保健衛生活動を実施するなど、さらなる健康増進・維持、健康な地域づくりに取り組みます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>目標値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮がん・乳がん検診</td> <td>700人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企業健診等</td> <td>2,000人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予防接種</td> <td>1,200人</td> <td>肺炎球菌、インフルエンザ等</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルスワクチン接種</td> <td></td> <td>ワクチン接種状況が不透明な為設定無し</td> </tr> </tbody> </table>		目標値	備考	子宮がん・乳がん検診	700人		企業健診等	2,000人		予防接種	1,200人	肺炎球菌、インフルエンザ等	新型コロナウイルスワクチン接種		ワクチン接種状況が不透明な為設定無し	<ul style="list-style-type: none"> ・子宮がん、乳がん検診の実施件数 ・企業健診等の実施件数 ・予防接種の実施状況 	<p>コロナが5類に移行された令和5年度は、ヘルスプロモーションセンターを立ち上げ、保健衛生事業の拡充を図りました。前年度を大幅に上回る実績は得られませんが、今後実績を上げるための土台を築いてきました。事業内容としては、子宮がん検診、乳がん検診、事業所検診、及び個人健診や予防接種など幅広い保健衛生事業を実施いたしました。また、ヘルスプロモーション事業として、糖尿病の健康教室などの公開健康講座等を開催し、市民の健康づくりに寄与しました。今後も保健衛生に関わるイベント等を開催し、地域住民だけでなく、地域の施設、事業所の施設関係者等々への啓蒙活動や市と共同した保健衛生活動を実施するなど、さらなる健康増進・維持、健康な地域づくりに取り組みます。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>実績値</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>子宮がん・乳がん検診</td> <td>245人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>企業健診等</td> <td>1,271人</td> <td></td> </tr> <tr> <td>予防接種</td> <td>827人</td> <td>肺炎球菌、インフルエンザ等</td> </tr> <tr> <td>新型コロナウイルスワクチン接種</td> <td>932人</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		実績値	備考	子宮がん・乳がん検診	245人		企業健診等	1,271人		予防接種	827人	肺炎球菌、インフルエンザ等	新型コロナウイルスワクチン接種	932人		△	<p>ヘルスプロモーションセンターを設置し、健診・検診の拡充を図りました。また、フレイル予防活動教室への理学療法士派遣や、院外での健康増進イベント、オンラインを活用した感染管理講座や糖尿病予防に関する講座の実施等、啓発活動についても積極的に行いました。しかし、目標には到達していません。現状曜日を限定している健診も稼働日を増やす等の取り組みが必要と考えます。</p>	△	<p>アフターコロナを見据えて、ヘルスプロモーションセンターを設置し、企業健診等の増加を計画しましたがコロナの影響があり実績は届いていない。院外での健康増進イベントなどで健康に関する啓発を行うなど、広く市民に周知を行うなど、その姿勢を評価する。引き続き啓発活動を行なってください。</p>
	目標値	備考																																			
子宮がん・乳がん検診	700人																																				
企業健診等	2,000人																																				
予防接種	1,200人	肺炎球菌、インフルエンザ等																																			
新型コロナウイルスワクチン接種		ワクチン接種状況が不透明な為設定無し																																			
	実績値	備考																																			
子宮がん・乳がん検診	245人																																				
企業健診等	1,271人																																				
予防接種	827人	肺炎球菌、インフルエンザ等																																			
新型コロナウイルスワクチン接種	932人																																				
⑤災害時医療	<p>あま市地域防災計画に基づき、令和2年9月に「あま市民病院 災害対応に関する基本方針・災害対策マニュアル」、令和3年2月に「あま市民病院 災害時事業計画書（BCP）」、令和3年8月に「あま市民病院 水害（洪水・内水）非難確保計画」を策定し、また、地域の消防署、行政機関等の関連機関との連携を強化し、コロナでここ数年中止されていた地域の総合防災訓練に参加して参ります。また防災避難訓練については、質の向上に向けより実践的な行動が出来るようトリアージ訓練を計画しています。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>頻度</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災避難訓練</td> <td>2回/年</td> <td>院内における日中及び夜間を想定した避難訓練を実施。併せて炊き出し訓練も実施。</td> </tr> <tr> <td>トリアージ訓練</td> <td>1回/年</td> <td>傷病者の受入れを速やかに行う訓練</td> </tr> <tr> <td>海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練</td> <td>適宜</td> <td>訓練参加</td> </tr> </tbody> </table>		頻度	内容	防災避難訓練	2回/年	院内における日中及び夜間を想定した避難訓練を実施。併せて炊き出し訓練も実施。	トリアージ訓練	1回/年	傷病者の受入れを速やかに行う訓練	海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練	適宜	訓練参加	<ul style="list-style-type: none"> ・研修等の実施状況 ・訓練の実施状況 	<p>あま市地域防災計画に基づき、令和2年9月に「あま市民病院 災害対応に関する基本方針・災害対策マニュアル」、令和3年2月に「あま市民病院 災害時事業計画書（BCP）」、令和3年8月に「あま市民病院 水害（洪水・内水）非難確保計画」を策定し、また、地域の消防署、行政機関等の関連機関との連携を強化し、コロナでここ数年中止されていた地域の総合防災訓練に参加しました。また防災避難訓練については、質の向上に向けより実践的な行動が出来るよう9月にはトリアージ訓練を実施しました。改善点は多くありましたが、今後も様々な状況を想定した訓練を行っていくことで、有事の際に対応できる体制を強化していきたいと考えています。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th></th> <th>実施日</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>防災避難訓練</td> <td>9月12月</td> <td>院内における日中及び夜間を想定した避難訓練を実施。</td> </tr> <tr> <td>トリアージ訓練</td> <td>9月</td> <td>院内防災避難訓練において実施</td> </tr> <tr> <td>海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練</td> <td>6月</td> <td>海部地方総合防災訓練への参加 あま市総合防災訓練はコロナ対策の為中止</td> </tr> </tbody> </table>		実施日	内容	防災避難訓練	9月12月	院内における日中及び夜間を想定した避難訓練を実施。	トリアージ訓練	9月	院内防災避難訓練において実施	海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練	6月	海部地方総合防災訓練への参加 あま市総合防災訓練はコロナ対策の為中止	○	<p>法令で定められている訓練を実施し、災害時等に対応できる対策を図りました。9月の防災避難訓練においてはトリアージ訓練を行いました。課題も多く見つけましたが、これまで行ってこなかった取り組みを行ったことは、大きな成果であると考えます。また、必要な防災備品等の整備も行いました。</p>	○	<p>年度ごとに種類の異なる消防訓練や災害訓練を行うなど、いつこの地域を襲うかも分からない事態を想定した防災体制を構築しており高く評価する。また、実際に必要な防災備品等の整備も行われており防災意識が高い点についても評価する。</p>						
	頻度	内容																																			
防災避難訓練	2回/年	院内における日中及び夜間を想定した避難訓練を実施。併せて炊き出し訓練も実施。																																			
トリアージ訓練	1回/年	傷病者の受入れを速やかに行う訓練																																			
海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練	適宜	訓練参加																																			
	実施日	内容																																			
防災避難訓練	9月12月	院内における日中及び夜間を想定した避難訓練を実施。																																			
トリアージ訓練	9月	院内防災避難訓練において実施																																			
海部地方総合防災訓練 あま市総合防災訓練	6月	海部地方総合防災訓練への参加 あま市総合防災訓練はコロナ対策の為中止																																			